

## 授業評価に関するクイズ<sup>1</sup>

- T F 1. ほとんどの教員は、昇進やテニユア（長期在職権）獲得の判断が一部、学生による教育能力の評価に基づくべきであるということに賛成である。
- T F 2. 授業評価は統計的に信頼できる（すなわち、内的な安定性があり、かつ時間を越えた一貫性がある）。
- T F 3. 指導に関する学生の評価と学生の成績には非常に高い相関がある。
- T F 4. 講義クラスの男女構成は、授業評価の評価結果の高低に影響を及ぼす傾向がある。
- T F 5. 大規模講義（100人以上）の教員は、35人から100人のサイズの講義を担当する教員と比べ、一般的に授業評価の結果は低い。
- T F 6. 教授、助教授などの高い地位にある教員は、低い地位にある教員よりも、授業評価の評価結果が高い傾向にある。
- T F 7. 研究報告によれば、最も高い授業評価の結果を得る教員は、単なるエンターテイナーではなく実質的に優れている。
- T F 8. 学生による授業評価というものは、典型的には評価が寛大で、そのスコアの分布は高い方に歪む傾向にある。
- T F 9. 研究報告によれば、学生と同僚それぞれによる同一教員の評価結果は正の中程度の相関がある。

---

<sup>1</sup> Seldin, P. (August, 2006). *Using Course Feedback from Students to Improve Teaching*. A Presentation for the National Institution for Academic Degrees and University Evaluation, Japan.